

令和5年度岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会 議事録（概要）

日 時：令和6年2月16日（金）17：00～18：30

場 所：ピュアリティまきび

出席者：岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会委員 11名

随行者 2名

事務局 4名

1 開 会

2 議 事

（1）今年度の取組について

ア 研修会の開催

イ 診療連携体制の整備について

（ア）アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査の広報について

（イ）アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査の実施について

（ウ）食物アレルギーの診療体制構築のための調査について

（2）来年度の取組について

ア 研修会の開催

イ アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査について

（3）その他

3 閉 会

【意見交換（要旨）】

<（1）今年度の取組について ア 研修会の開催>

（委員）実践型研修の参加対象者が教育関係者であれば、学校が夏休みの時期の開催が良いのではないか。

（委員）教育関係者は長期休業中に多くの研修があるので、その時期に多く集まるかどうかはわからない。研修が落ち着いている時期について相談いただくことは可能だ。

<（2）今年度の取組について イ 診療連携体制の整備について>

特になし

＜（２）来年度の取組について ア 研修会の開催＞

（委員）食物アレルギーの死亡事故が起こったときは、エピペン®の研修も多かったが、最近はない。教育現場には新しい先生が入ってくるが、その先生たちがエピペン®の投与を躊躇するといけないので、集合研修の機会が必要ではないか。

（随行者）エピペン®の研修は、いざというときのためにできるだけ現実に近い形で行うのが良いと考えている。学校の先生方と一緒にエピペン®の研修ができたらと思う。

（委員）岡山市は県教育委員会の管轄外だ。この協議会から岡山市に研修会の情報を流した方がよいのではないか。

（委員）栄養教諭も、緊急時の対応ができるように学んでいるが、スキルアップが必要なので、連携をとっていただきたい。

（委員）一般向けの研修会は、公民館や愛育委員を通じた広報がよいのではないか。また、講師を県内の先生にすると、親しみがあり参加者も多くなるのではないか。

＜（２）来年度の取組について イ アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査について＞

（委員）調査の結果を、「おかやま医療機関ネット」に掲載、連携できないのか。掲載が難しければ、URLリンクを貼るなど、双方向性をもたせてほしい。

→検討する。

（委員）一般に向けて公開するが、各医療機関もリストを見らと思うので、公開の際には医師会等を通じてリストの周知が必要だ。

＜（３）その他＞

特になし